

平成28年度 地すべり防止事業 再評価調書

事業名	地すべり防止事業	ふりがな 地区・路線名	和田地区
事業主体	徳島県	関係市町村	三好市(旧東祖谷山村)
事業概要	<p><b>(事業目的)</b>                      本地区は、三好市東祖谷を流下する祖谷川支流和田谷川左岸に位置しており、林野庁所管の地すべり防止区域(和田地区)に指定されている。                      平成23年9月21日、台風15号接近に伴う豪雨により地すべり活動が活発化し、地すべりブロックを形成していた山腹斜面において、地すべりによる末端崩壊が発生するとともに、崩壊土砂の一部は下流の和田谷川にまで到達した。                      また、斜面に残存している土塊についても非常に不安定な状態にあり、降雨等を誘因として更なる土砂の流下が想定される。また、崩壊地頭部には新たな亀裂が見られるなど、上部への拡大崩壊も懸念されている。                      これらの状況を解消するため、地すべり活動の抑止・抑制を図ることを目的として地すべり対策工事(アンカー工、のり砕工等)を行ってきた。</p> <p><b>(事業内容)</b>                      事業対象区域： 18.70ha                      整備対象区域： 2.20ha                      保全対象： 人家20戸、道路(県道他)0.80km                      主要工事： アンカー工 94.0孔、法砕工 1,459.1m<sup>2</sup>、暗渠ボーリング工 17.0孔 他                      総事業費： 410,000千円 (国費50%・県費50%)                      事業予定期間： 平成24年度～ 平成33年度 (10年間)</p>		
	評価項目	<p><b>(事業の進捗状況)</b>                      平成27年度までに、アンカー工-59孔、法砕工-859.1m<sup>2</sup>、暗渠ボーリング工-7孔等を実施している。                      平成28年度末における事業費ベースでの進捗率は49%となっている。</p> <p><b>(関連事業の進捗状況)</b>                      該当なし。</p> <p><b>(社会経済情勢の変化)</b>                      地すべり活動については、平成26年8月の台風襲来により顕著な地すべり活動を観測している。地形の形状についても度重なる降雨等も含め、斜面崩壊は徐々に進行しており、不安定な状態は現在も続いている。                      下流域には、人家、県道等があり、平成23年の斜面崩壊時には、下流域の住民が自主的に避難を行った経緯もあるため、地すべり活動や斜面崩壊の安定を図ることと、下流域住民の不安を解消することは重要な課題である。</p> <p><b>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</b>                      なし</p> <p><b>(事業効果の発現状況)</b>                      本事業の実施に伴い地すべり対策工事の整備が促進されれば、対象ブロックの地すべり活動の抑止・抑制等が図られ、地域住民の不安も解消される。                      ・費用対効果指数＝総便益／総費用＝ 1.52</p> <p><b>(受益者・関係機関の意向)</b>                      現在、下流域への直接的な被害はないが、地元住民においては、降雨のたびに斜面の拡大崩壊や土砂の流下による被害等を不安視しており、事業の早期完成を強く望んでいる。また、三好市からも地元住民の不安解消のためにも、工事の早期完成を強く要望されている。</p> <p><b>(事業の実施方針)</b>                      継続して事業を実施する。</p>	